

# 株式会社アーレスティ

## 2006年3月期決算説明会

2006年5月31日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

# ご説明内容

---

- I. 2006年3月期決算概況
- II. 2007年3月期業績見通し

# I. 2006年3月期決算概況

# 2006年3月期ビジネスハイライト(1)

---

## ◆ 下期より(株)アーレスティ山形が本格稼働

- ▶ 東日本の中小物製品の鋳造から加工までの一貫生産拠点としての位置付け
- ▶ 下期前半は混乱が見られたが、年度末までには収束し改善

# 2006年3月期ビジネスハイライト(2)

---

## ◆2005年4月より広州阿雷斯提汽車配件有限公司量産納入開始

### ▶ ダイカストマシン保有台数

- 06年3月末時点 2500t 1台 800t 2台 650t 1台
- 07年3月末時点 2500t 3台 800t 3台 650t 2台

### ▶ 月産生産能力

- 06年3月末時点 200t
- 07年3月末時点 500t

### ▶ 主要顧客: スズキ・トヨタ・日産・ホンダ

# 2006年3月期ビジネスハイライト(3)

---

## ◆阿雷斯提精密模具(広州)有限公司稼動開始

- 2005年12月生産開始
- 大型製品用ダイカスト金型を生産
- 当社広州工場向けその他、日系自動車メーカー内製向けに供給

# 2006年3月期ビジネスハイライト(4)

---

## ◆ 豊橋工場近隣に90,000m<sup>2</sup>の用地取得

- ▶ 加工部門と物流センターが06年4月から稼動開始
- ▶ 加工部門跡地に大型ダイカストマシン工場を建設開始(竣工予定:06年9月)
- ▶ テクニカルセンターを06年9月に設立予定  
技術部門の機能強化を図り、また、お客様により近づいた研究開発部門としていく

# 2006年3月期ビジネスハイライト(5)

---

## ◆リア・サブフレームがNADCAから表彰

- NADCA(北米ダイカスト協会)主催の2006 International Die Casting Competitionにおいて、高真空ダイカストで開発したホンダレジェンド搭載のリア・サブフレームが、高い技術力と軽量化を評価され、10ポンド(4.5kg)以上の部門で第一位を受賞

# 連結決算概要

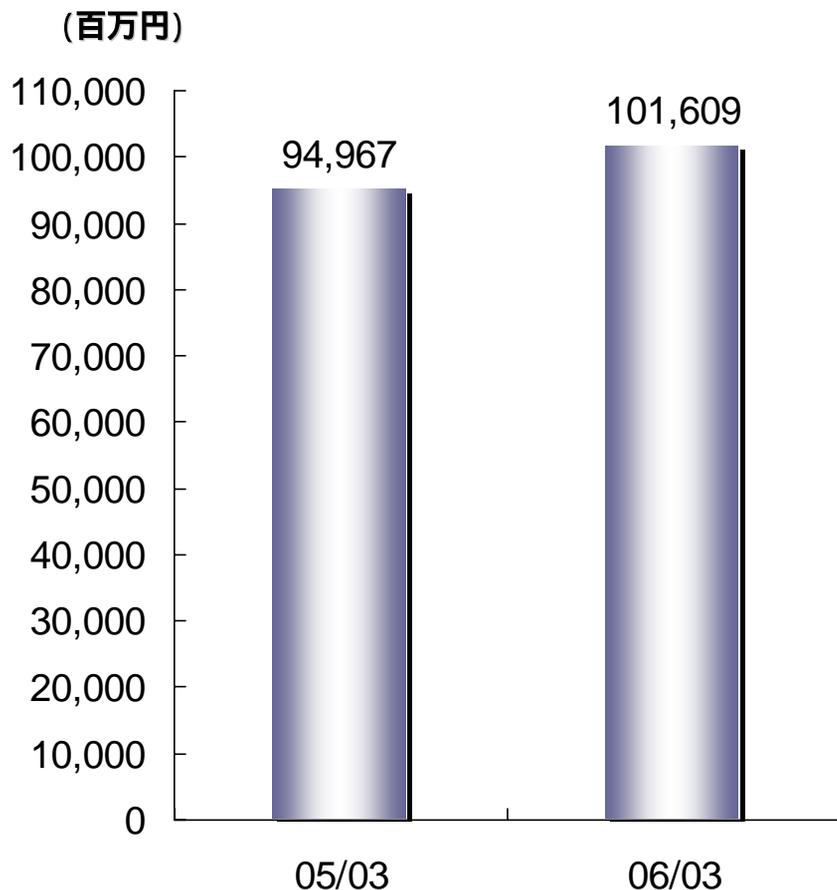
- ◆売上高 101,609百万円(過去最高額、前年同期比 7.0%増)
- ◆営業利益 5,916百万円(過去最高益、前年同期比 5.7%増)
- ◆経常利益 5,594百万円(過去最高益、前年同期比16.5%増)
- ◆当期純利益 3,734百万円(過去最高益、前年同期比64.8%増)

単位：百万円

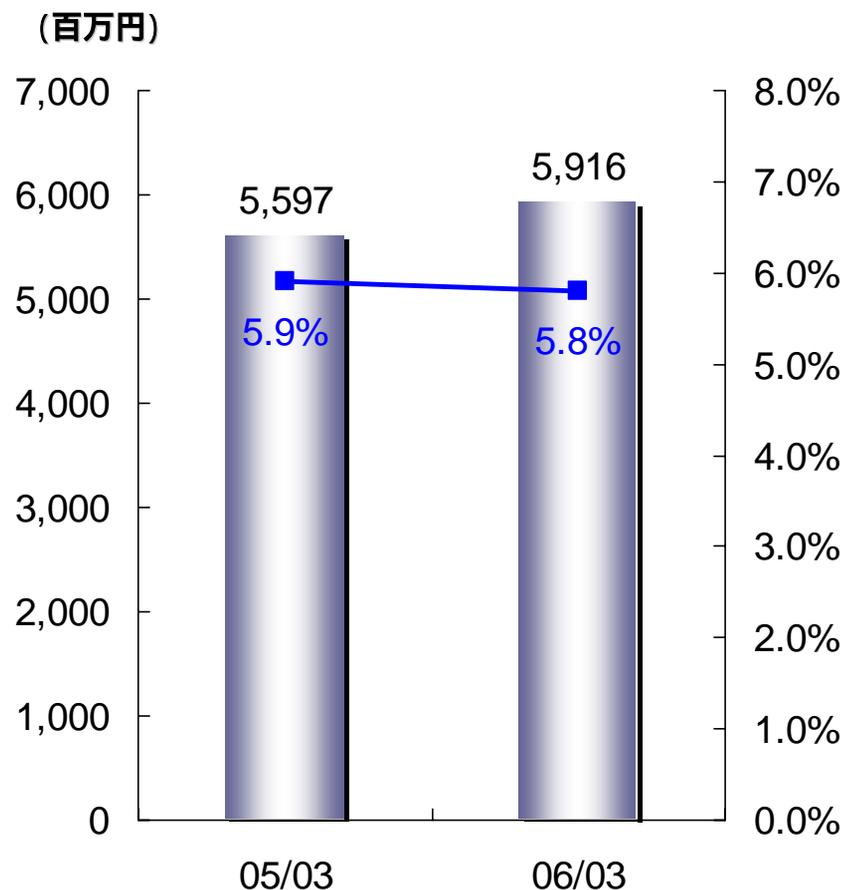
	2005年3月期	2006年3月期	増加率
売上高	94,967	101,609	7.0%
営業利益	5,597	5,916	5.7%
経常利益	4,803	5,594	16.5%
当期純利益	2,265	3,734	64.8%
ROE	11.3%	13.6%	2.3ポイント
ROA	3.5%	5.0%	1.5ポイント

# 業績推移 - 連結売上高・連結営業利益

売上高



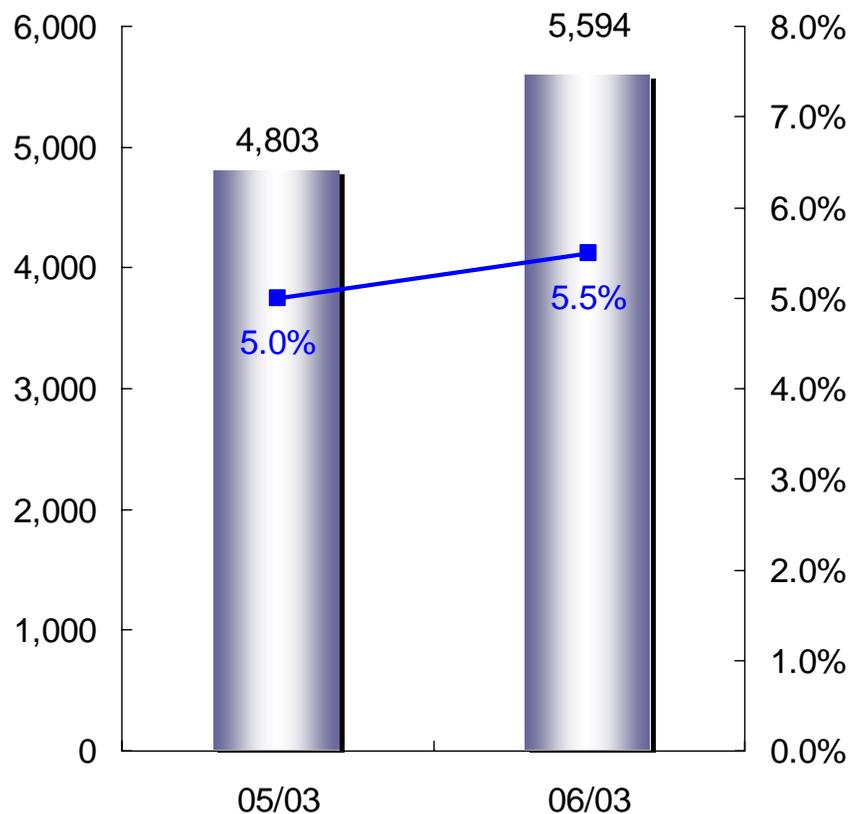
営業利益



# 業績推移 - 連結經常利益・当期純利益

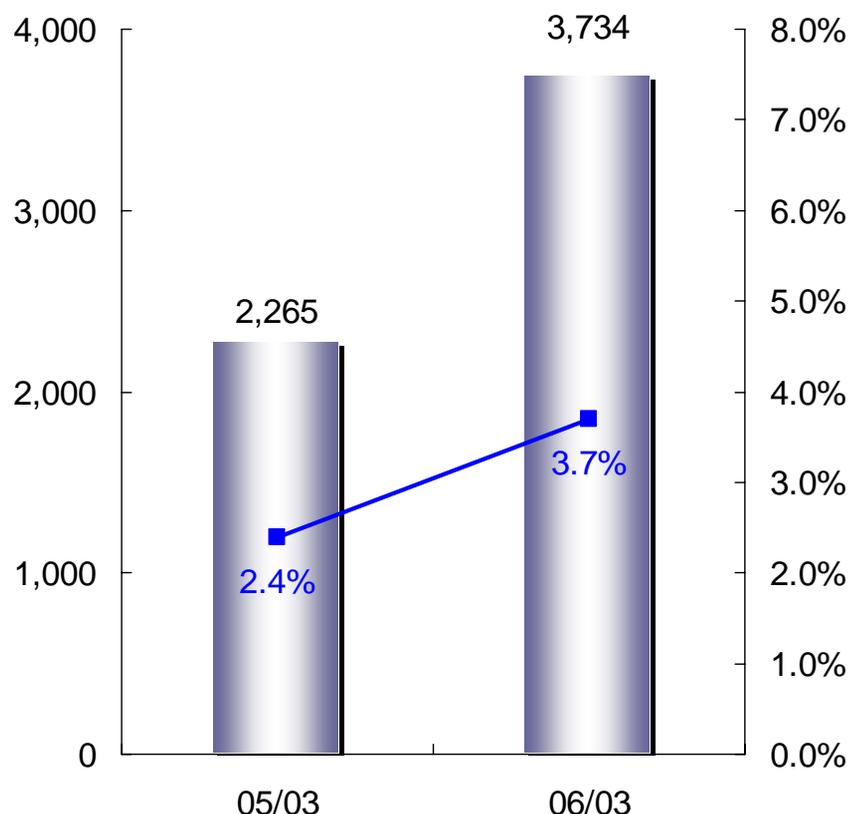
## 經常利益

(百万円)



## 当期純利益

(百万円)



# 業績推移 - 連結キャッシュフロー

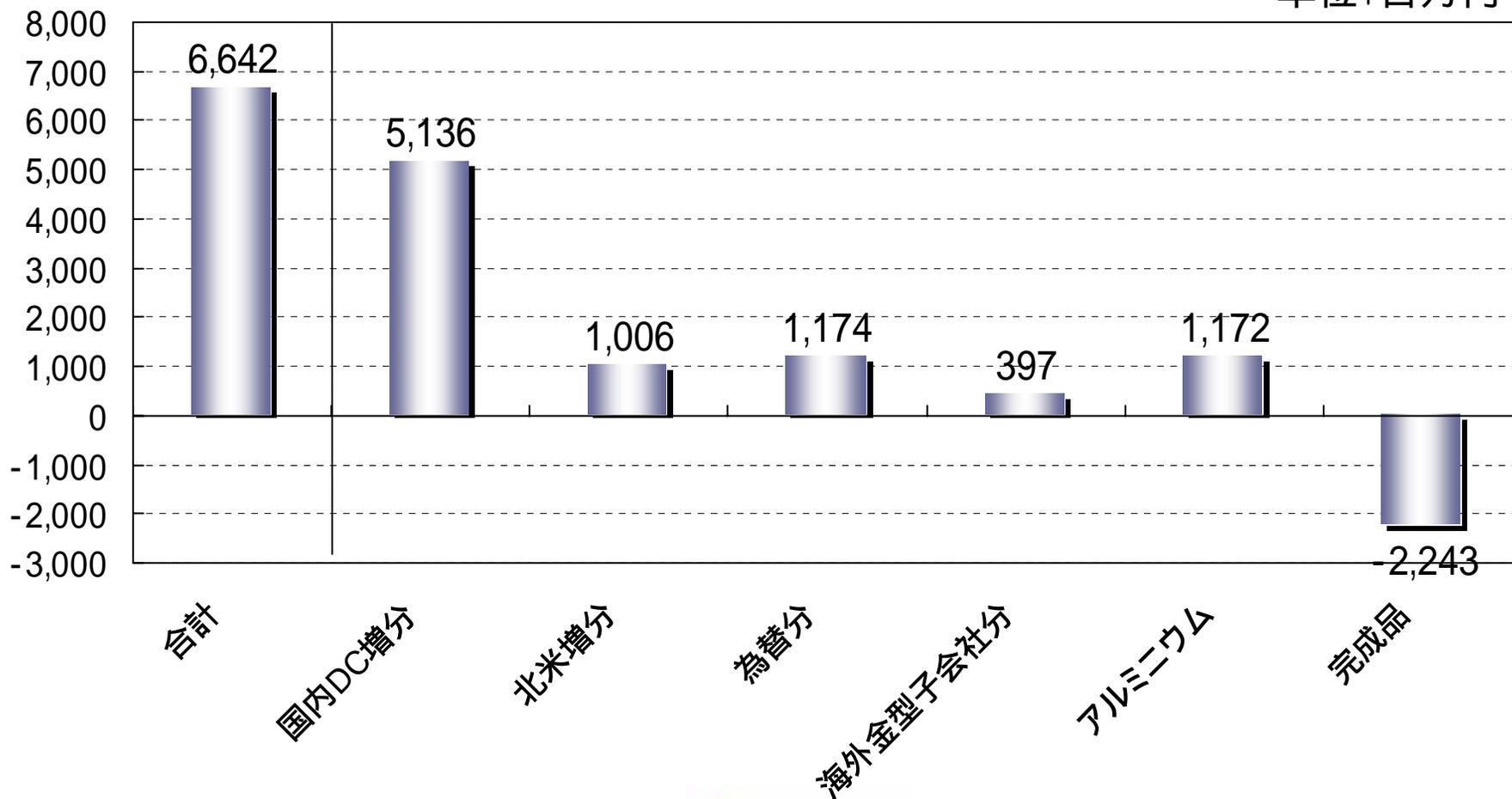
単位：百万円

	2005年3月期	2006年3月期
営業活動によるCF	9,203	9,174
投資活動によるCF	6,514	14,178
財務活動によるCF	3,213	5,131
現金等の増加額	2,568	2,754

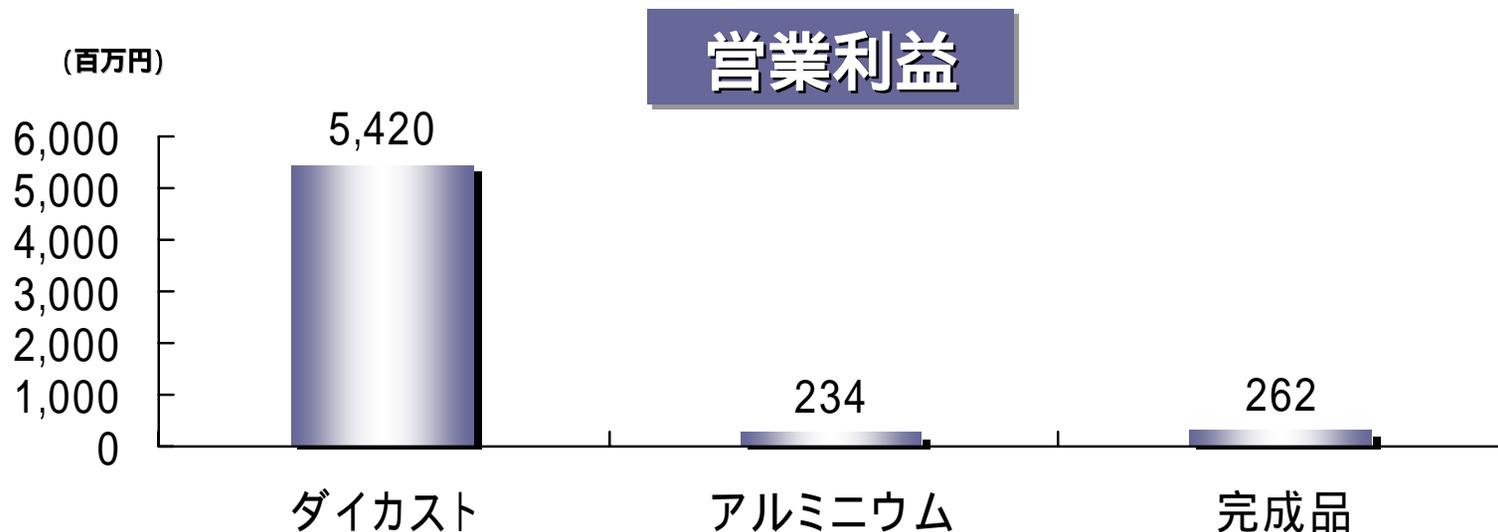
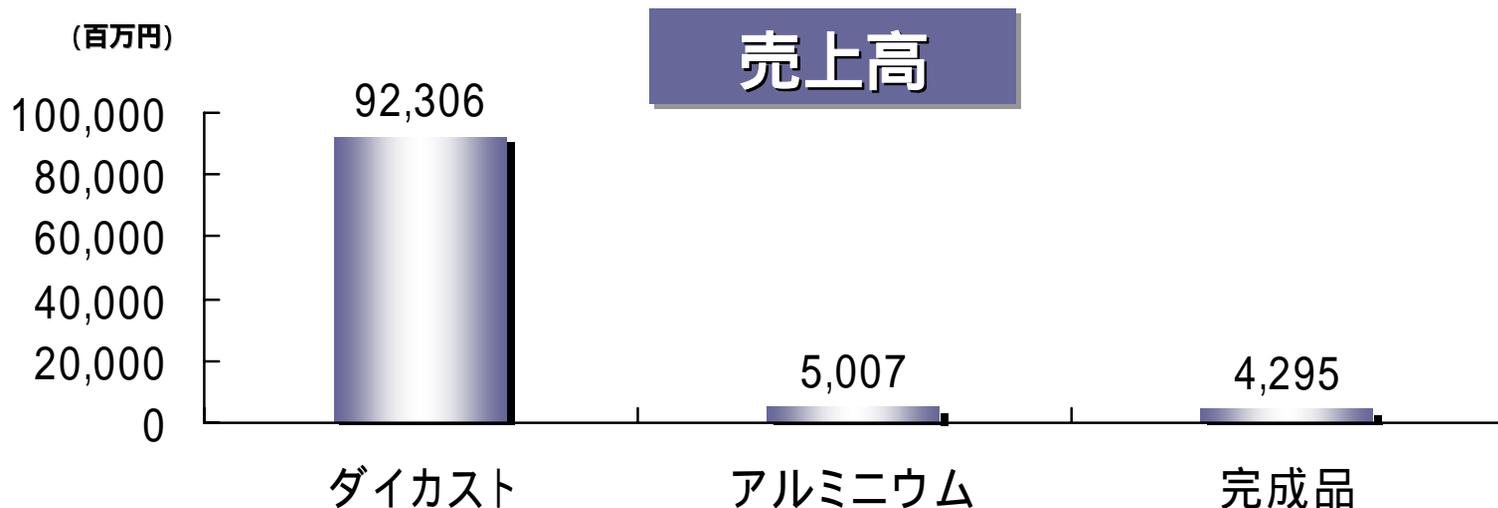
# 売上高要因分析（前年同期比）

日系自動車メーカー好調と円安により大幅な増加

単位:百万円



# 事業別 - 連結売上高・営業利益

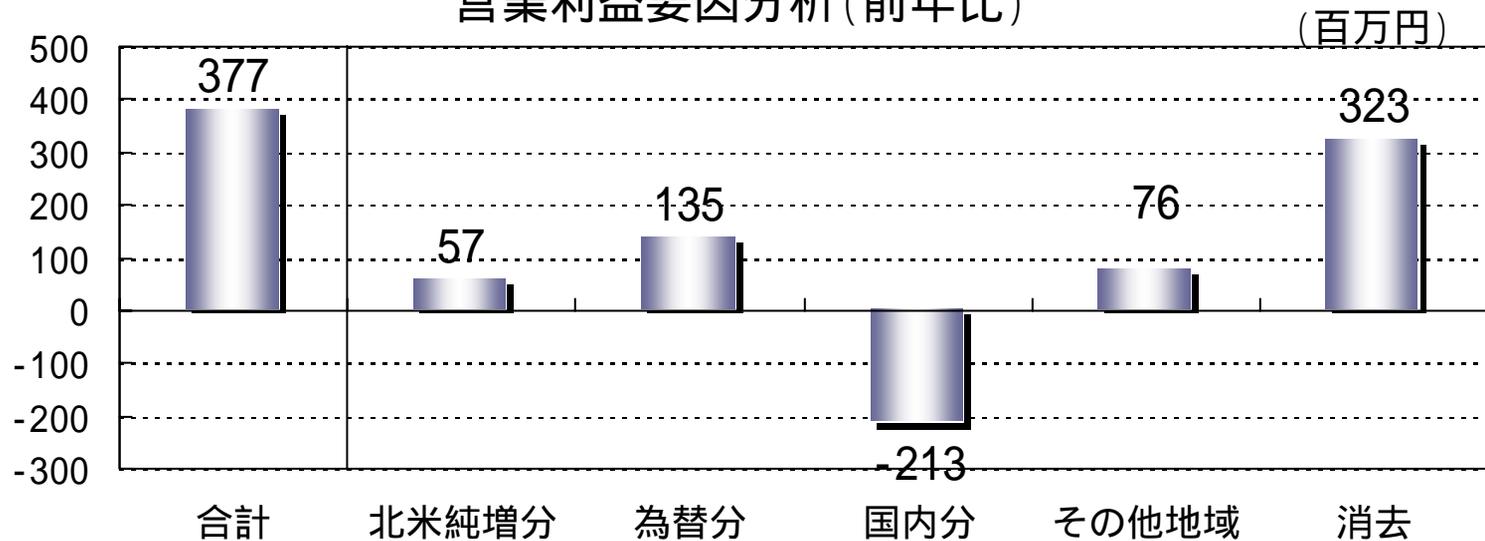


# ダイカスト部門の状況

単位:百万円

	2005年3月期	2006年3月期	対前年増減
売上高	84,593	92,306	9.1%
営業利益	5,043	5,420	7.5%

営業利益要因分析(前年比)



営業利益マイナス要因: 地金差損 291百万円

連結子会社決算期変更の影響 288百万円

# アルミニウム部門の状況

単位：百万円

	2005年3月期	2006年3月期	対前年増減
売上高	3,835	5,007	30.6%
営業利益	213	234	9.6%

## 要因分析(前年比)

売上高 1172百万円増加      営業利益 20百万円増加

1. 営業戦略の見直しにより販売重量は15.3%増加し、また、地金価格高騰により販売価格が上昇し、売上高は30.6%増加
2. 重油価格の上昇、原料価格の高騰により営業利益の伸びは少なかった

# 完成品部門の状況

単位：百万円

	2005年3月期	2006年3月期	対前年増減
売上高	6,538	4,295	34.3%
営業利益	339	262	22.7%

## 要因分析(前年比)

売上高・営業利益とも市場環境縮小のため大幅減少

- 半導体関連の大型案件の減少
- 部材調達費の高騰
- 園芸事業から撤退

## II. 2007年3月期業績見通し

# 当社を取り巻く環境

---

- ◆自動車業界の設備投資意欲は国内外ともに益々隆盛である
- ◆原油の高騰は懸念材料ではあるが、ある程度であれば、購買意欲は日本車へシフトする
- ◆アルミダイカストの需要は毎年過去最高を更新し、05年度はついに100万トンを超えた
- ◆原材料の高騰も懸念材料であるが、アルミ需要は引き続き旺盛と思われる

# 2007年3月期業績予想

単位:百万円

	2006年3月期	2007年3月期 (予想)	増加率(%)
売上高	101,609	117,400	15.5%
営業利益	5,916	6,850	15.8%
経常利益	5,594	6,650	18.9%
当期純利益	3,734	3,800	1.8%

# 2007年3月期事業別業績予想

## 連結売上高

単位:百万円

	2006年3月期	2007年3月期 (予想)	増加率(%)
ダイカスト	92,306	107,200	16.1%
アルミニウム	5,007	5,200	3.9%
完成品	4,295	5,000	16.4%
合計	101,609	117,400	15.5%

### ダイカスト

- ◆ 国内販売好調の見込み
- ◆ 東海精工子会社化による売上高増加
- ◆ 広州阿雷斯提汽车配件有限公司の連結化による売上増加

### アルミニウム

- ◆ 原材料費の高騰が懸念されるが、生産性向上・原価低減を推進する

### 完成品

- ◆ 市場回復の見通しにより売上増の見込み

# 2007年3月期事業別業績予想

## 連結営業利益

単位:百万円

	2006年3月期	2007年3月期 (予想)	増加率(%)
ダイカスト	5,420	6,300	16.2%
アルミニウム	234	250	6.8%
完成品	262	300	14.5%
合計	5,916	6,850	15.8%

- ◆ ダイカストは原価低減活動の推進と販売費の低減
- ◆ 原材料費高騰により営業利益率は横這いの見込み

# 設備投資・減価償却費の推移

## 営業C.F.の範囲内で設備投資を実施

単位:百万円

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期(予)
営業活動によるC.F.	6,484	8,168	9,203	9,174	11,400
設備投資額 (金型を除く)	3,375	5,656	6,253	13,590	10,700
(減価償却費)	3,678	4,501	5,295	5,412	6,900

# 中期経営計画(2005 - 2007年度)

---

1. 世界に誇れる品質
2. グローバル価格競争力の強化
3. 製品開発・技術開発
4. 継続した企業価値の増大
5. 強靱な財務体質の構築

# 中期経営計画('05 - '07年度) 目標値変更

## 05年度活動状況を踏まえ上方修正

売上高	1,100億円	➡	1,200億円
総資産純利益率	5%	➡	5.5%
売上高経常利益率	6%	➡	7%
自己資本比率	40%	➡	45%

# 株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して

2006年5月31日